

# 令和8年度 学習計画(シラバス)

教科	科目	対象学年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所
国語	言語文化	1年	3	山崎映子	『改訂版 高等学校 言語文化』 坪内稔典 他30名(数研出版)	体系古典文法、体系漢文(数研出版) 力をつける古典1(数研出版)
指導の重点		1.生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるように 2.論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。 3.言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通してものや社会に関わろうとする態度を養う。				
評価の観点		知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。			
		思考・判断・表現	・「書くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			
		主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。			
学習の評価		1.定期考査や課題テストで「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 2.授業中のペアワークやグループワーク、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3.課題提出で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 4.上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。				
学期	月	考査	単元	学習内容	学習の目標(評価)	
1	4	中間	古文の世界を楽しむ	宇治拾遺物語 竹取物語	【知・技】古典の世界に親むために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思・判・表】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	
			日本語の中に生きる漢文 故事と成語	入門一 入門二 狐借虎威	【知・技】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【主】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
			受け継がれる古文	羅生門	【知・技】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思・判・表】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
	7	期末	現代にも生きる教え 和歌による心の交流	徒然草「神無月のころ」  伊勢物語「芥川」	【知・技】古典の世界に親むために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思・判・表】文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。	
2	9	中間	平安宮廷文学の世界	枕草子	【知・技】古典の世界に親むために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思・判・表】自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。	
			漢詩のことば	漢詩	【知・技】古典の世界に親むために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思・判・表】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	
			仮名日記文学の原点	土佐日記	【知・技】古典の世界に親むために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【主】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
			読み継がれる歴史	鶏口牛後	【知・技】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【主】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
3	1	学年末	受け継がれる漢文	山月記	【知・技】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思・判・表】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	
			戦乱下の人間像	平家物語	【知・技】古典の世界に親むために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思・判・表】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。	
			詩歌の系譜	サーカス 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 短歌 俳句	【知・技】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思・判・表】自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。	